

事務事業評価表 平成24年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 安全な暮らしの確保
 基本事業 防犯活動の推進

事業名 **公共街路灯新設更新等事業**

[0241]

部名	生活環境部	事業開始年度	昭和42年度	実施計画事業認定	非対象
課名	市民生活課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市内全域</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>公共街路灯の新設・更新により、その機能の維持・向上と夜間の地域環境の向上が図られる。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市が管理する幹線道路を中心に、老朽化した公共街路灯の更新及び必要な新設を行う</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	市内全域面積	Km ²	187.57	187.57	187.57	187.57
対象指標2						
活動指標1	新設更新灯数	基	5	6	11	15
活動指標2						
成果指標1	公共街路灯数	基	3,747	3,753	3,752	3,752
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	936	2,050	3,136	3,514
正職員人件費 (B)		千円	1,245	806	803	2,428
総事業費 (A) + (B)		千円	2,181	2,856	3,939	5,942

費用内訳	
23年度	需用費 688千円、工事請負費 2,448千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

公共街路灯は、市民の夜間における交通安全と犯罪の防止を推進するための道路の附属施設であり、市が実施する事業である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

地域環境を直接整備することで、市民の交通安全の確保と犯罪の防止に役立つとともに、安全で快適な都市生活の実現に向けて貢献は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

財政上の制約により小規模になりつつあるが、着実に実施されている。また、夜間照明の確保とい直接的な効果があり、成果が見られる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

財政上の制約から数量的な向上は困難であるが、状況に応じた効果的な対応により質的な向上の余地がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

緊急度に応じた整備を推進することで、数量的向上から、設置環境に対応する質的な充実を図っているためコスト削減余地は少ない。